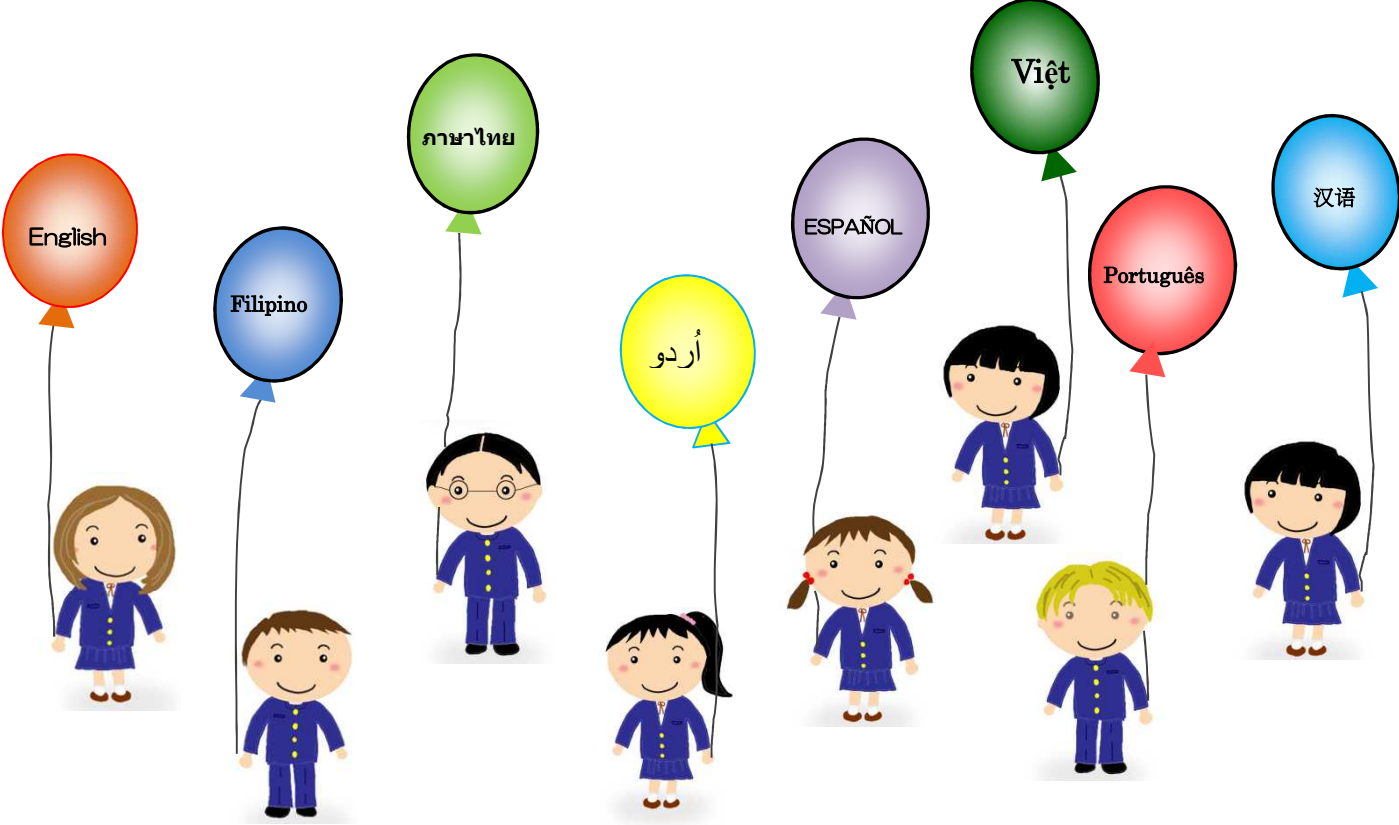


たげんご
多言語による

とちぎけんぱん
栃木県版
2014

こうこうしんがく
高校進学ガイダンス



この資料は、昨年までの資料およびデータに基づいて作成されたものです。平成27年度の正式な入試
 細則は11月中旬に栃木県教育委員会より作成・刊行されます。

うつのみやだいがく ハンズ
 宇都宮大学HANDSプロジェクト

プログラム

しゅさいしゃ
主催者あいさつ

こうこうしんがく
高校進学ガイダンス

きゅうけい
休憩

しつぎおとう
質疑応答

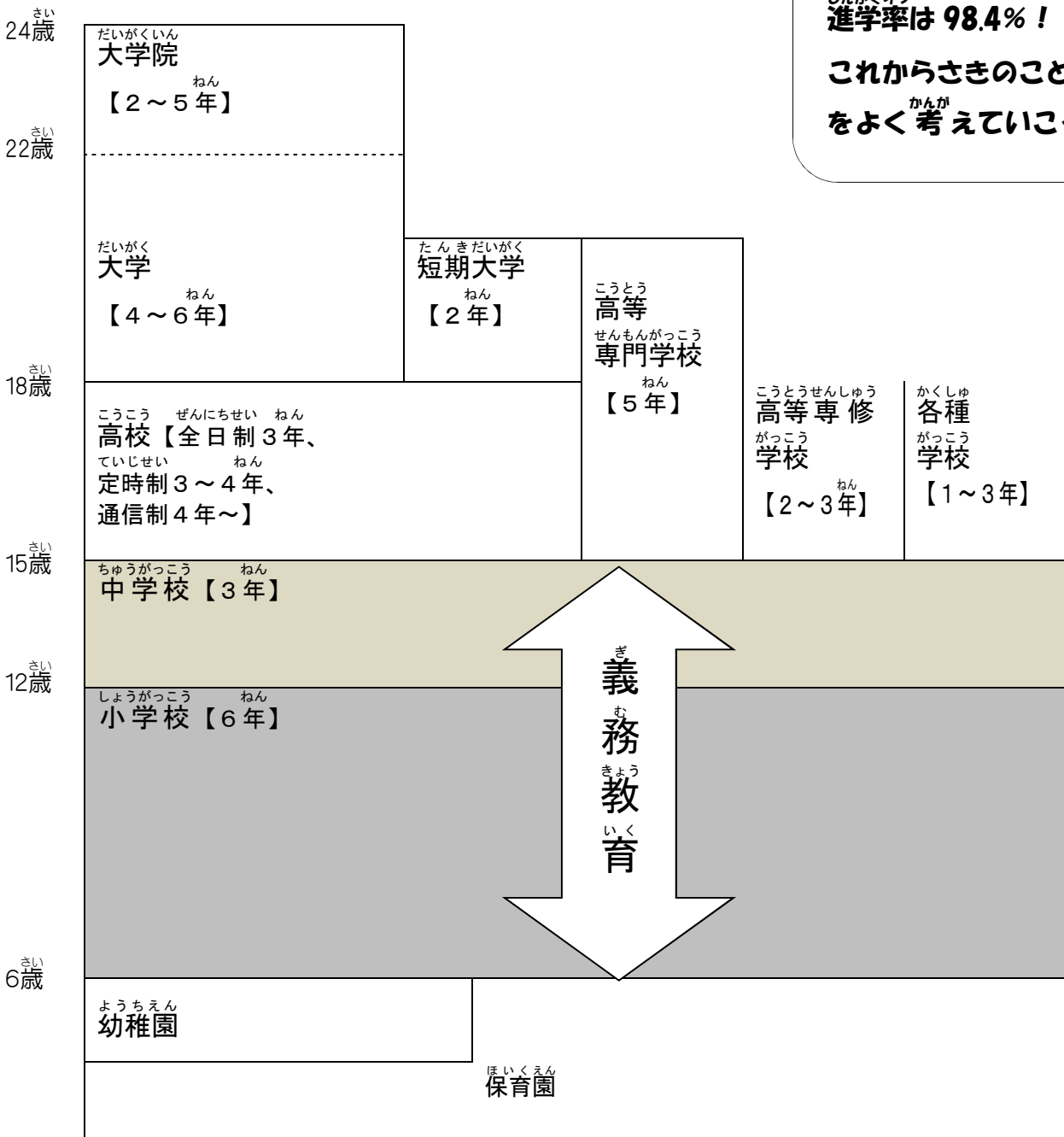
そつぎょうせい たいげんだん
卒業生の体験談

ようし きにゆう
アンケート用紙の記入

へいかい
閉会のあいさつ

1. 日本の学校のしくみ

2013年の全国の高校進学率は98.4%!
これからさきのこと
をよく考えていこう。



☺ 小・中学校と高校のちがい

小・中学校は義務教育ですが、高校は義務教育ではなく、成績が悪かったり欠席が多かったりすると進級や卒業ができなくなる場合があります。

☺ 高校を卒業すると…

大学・短期大学や専門学校に入学するための試験が受けられます。
ほとんどの企業が高校を卒業することを採用条件にしているため、中学卒業より就職の幅が広がります。高校3年間で資格をとることや自分の適性について考えることが大切です。

とちぎけん こうこう 2. 栃木県の高校

公立高校と私立高校があります。公立高校には、全日制・定時制（と通信制があります。
高校の学科には、大きく分けて 普通科・専門学科・総合学科があります。

(1) 全日制・定時制・通信制について

	全日制 (59校)	定時制 (8校)		通信制 (2校)
通学日	毎日 (月～金)	毎日 (夜間)	毎日 (月～金)	自主学習のレポートを提出し、添削指導を受ける。
授業時間	45～50分授業、6～7時限	45分授業、4～6時限17:30頃開始	午前・午後・夜間の3部制それぞれ45分授業、4～6時限	月に数回、登校して学習します。
卒業までの基本的年数	3年	3年以上		
学科 (次ページ参照)	普通科 専門学科 総合学科	普通科 専門学科 「工業」「商業」のみ	普通科 専門学科「商業」	普通科
その他		給食あり	夜間部のみ給食あり	



学校・学科を選ぶときのポイント

- (1) 自分の興味・関心、能力・適性、性格について考え、自分自身の可能性を探る。
- (2) 将来、自分がどんな職業につきたいか、どんな職業についたらよいかを考える。
- (3) 高校で何を学びたいのか考える。
- (4) 自分の希望する学校や学科の特色や学習内容を調べる。
- (5) 高校を卒業したあとどんな進路があるか調べる。



進路を考えるときは

まず、自分で考え、保護者と話し合い、先生と相談して決めよう！

夏休みの一日体験学習や進路説明会を利用して必要な情報をあつめよう

とちぎけん こうりつこうこう かくがつか とくしょく
 (2) 栃木県の公立高校における各学科の特色について

ふつうが 普通科		がくしゅう ちゅうしん ふつうきょうか お 学習の中心が普通教科に置かれている。多くの普通科では、2年生から ぶんけい りけい きまざま わ 文系・理系あるいは様々なコースに分かれ、深く学ぶ。
せん もん がっ 学 か 科	しょうぎょう かん がつか 商業に関する学科	おも かいけいちょうぼ さくせい ひつよう そうさ えいかいわ しょうひん 主に、会計帳簿の作成、ビジネスに必要なパソコン操作や英会話、商品 りゅうつう まな 流通のしくみなどを学ぶ。
	こうぎょう かん がつか 工業に関する学科	まかい てんき けんちく 機械、電気、建築、コンピュータプログラミングなどの分野がある。これ らのせんもんぎじゅつ じっけん じっしゅう とお まな らの専門技術を実験や実習を通して学ぶ。
	のうぎょう かん がつか 農業に関する学科	のうぎょうけいえい せいぶつこうがく しょくひんか がく のうぎょうどぼく えんげい ぶんや 農業経営、生物工学、食品化学、農業土木、園芸などの分野がある。こ れらのせんもんぎじゅつ じっけん じっしゅう とお まな これらの専門技術を実験や実習を通して学ぶ。
	すいさん かん 水産に関する がつか 学科	ぎょるい ほか すいさんせいぶつ ぞうようしょくぎじゅつ すいさんぶつ かこう りゅうつう まな けんない 魚類やその他の水産生物の増養殖技術、水産物の加工、流通を学ぶ。県内 にはばとうこうこう 1校のみ。
	かてい かん がつか 家庭に関する学科	ふくしょく せいにかつせつけい しょくもつぶんか えいようしょくもつ せいかつぶんか ぶんや 服飾デザイン、生活設計、食物文化、栄養食物、生活文化などの分野が ある。これらのせんもんぎじゅつ じっけん じっしゅう とお まな これらの専門技術を実験や実習を通して学ぶ。
	ふくし かん がつか 福祉に関する学科	かいごぎじゅつ しゃかいふくしせいど まな 介護技術や社会福祉制度などが学べる。
	りすう かん がつか 理数に関する学科	すうがく りか せんもんでき まな けんない おやまこうこう 1校のみ 数学や理科を専門的に学べる。県内には小山高校1校のみ。
	たいいく かん がつか 体育に関する学科	スポーツについてのせんもんちしき まな せんこうじつぎ していうんどうぶ 実際に実技を学べる。県内にはおやまみなみこうこう 1校のみ。
そうごうがつか 総合学科	たんいせいじゅぎょう まようみ かんしん おう やく かもく なか す きもく えら 単位制授業で、興味・関心に応じて約110科目の中から好きな科目を選べる。	

😊 せんもんがつか
 専門学科の多くでは、それぞれの学科の学習に合わせて、資格の取得を目指します。

😊 しりつこうこう がつか
 私立高校の学科については、各私立高校のパンフレットで確認しましょう。

😊 つうしんせい ていじせい しりつこうこう
 通信制や定時制の私立高校もあります。



(3) 普通科・専門学科・総合学科で学ぶ教科や科目について

ふつうか
普通科

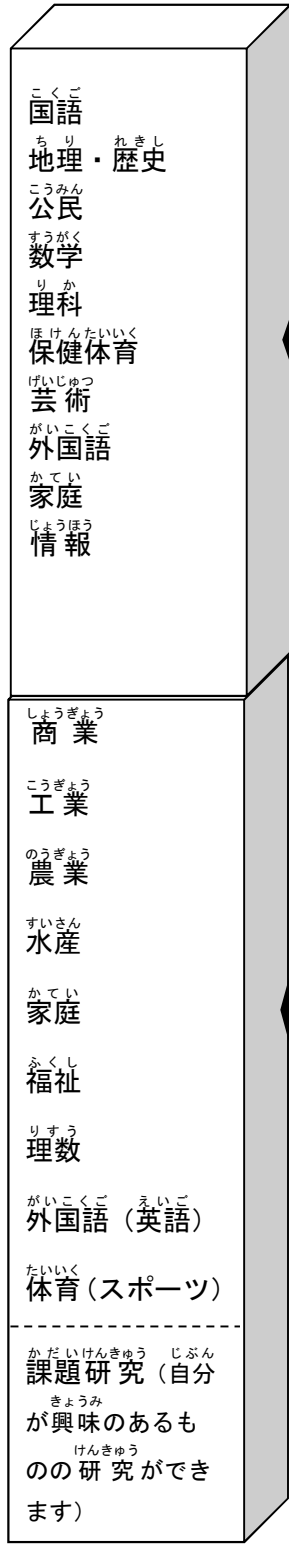
せんもんがつか
専門学科

そうごうがつか
総合学科

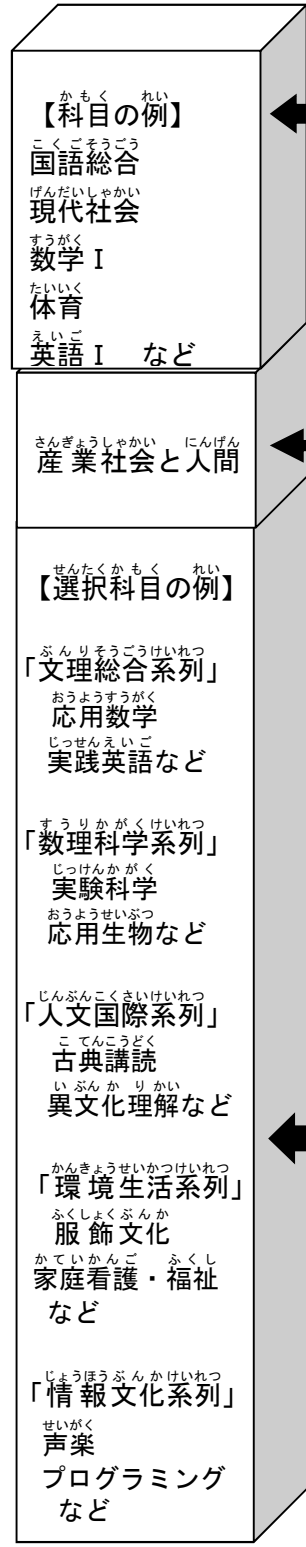
自分の勉強したい専門
がつか 学科のある高校に入学
します



普通
教科
科



普通教科(共通して学ぶ科目)
専門に関する教科・科目



必修科目・原則履修科目

選択科目

3. 学費について

(1) 入学するための費用

公立高校と私立高校は費用の面で大きな違いがあります。

課程	公立高校			私立高校
	全日制	定時制 (単位制)	通信制 (単位制)	全日制 (例)
入学 検定料	2,200円	950円	なし	12,000円～20,000円
入学金	5,650円	2,100円	500円	100,000円～200,000円
制服・体育着 など	40,000円～ 60,000円	15,000～	なし	70,000円～150,000円
施設拡充費	なし	なし	なし	100,000円～
およその 合計	50,000円～	18,000～	500円	300,000円～

私立高校などは、学校によってそれぞれの費用がちがいますので、詳しいことや最新の情報は学校のパンフレットをよく見てください。

特に学校の制服に関しては、公立高校も私立高校も学校によって費用は大きく異なります。



自分の志望する高校に知り合いの先輩がいたら、卒業するときに制服をゆずってもらえるように頼んでみましょう。

(2) 入学してから1年間にかかる費用

	公立高校			私立高校
	全日制	定時制 (単位制)	通信制 (単位制)	全日制 (例)
授業料	0円 (公立高校の授業料は無料です)			300,000円～※2
教科書・教材費	10,000円～70,000円 (学校・学科によって異なります。)			
諸費 ※1	130,000円～	30,000円～	10,000円程度	250,000円～
給食費	なし	学校による	なし	なし

※1 諸費とは、PTA会費、生徒会費などで、集める項目は学校によって異なります。他に、修学旅行費などもあります。たいてい1年生から積み立てがはじまります。

※2 私立高校の授業料については、平成22年4月から高等学校就学支援金制度が適応され月額9,900 (年額118,800) の支給がうけられます。また保護者の所得によって、さらに加算される場合があります。

(3) その他にかかる費用について

* 部活動費

部活動に入った場合、ユニフォーム、試合や大会参加などの費用がかかります。

* 交通費

自宅から遠く離れた学校に通う場合、公共交通機関を利用します。例えば電車通学の場合、定期券代が必要となります。

(4) 学費の支払いが困難な場合

* 奨学金制度の利用

高校に在学する生徒で勉学の意欲があるにもかかわらず、経済的理由により修学が困難な生徒に対して修学資金を貸してくれる制度があります。

奨学金には、政府、自治体あるいは民間のものなどいろいろな種類の奨学金があります。お金を返さなくてもいいものもあれば、社会人になったらお金を返さなければいけないものもあります。いずれの奨学金も受けられるか否かは生徒自身の学業成績や家庭の経済状況などによります。また、申請するためにはいくつかの書類をそろえなくてはなりません。奨学金制度の利用を希望するかたは、中学校の先生または入学先の高校の先生に相談してください。

4. 入学試験について

高校に入るためには、入学試験を受けなければなりません。入学試験のことを「入学者選抜」「入試」ともいいます。入学試験を受ける時の決まりがあります。

こうりつこうこう にゆうがくしけん
(1) 公立高校の入学試験のタイプ

		じゅけんしかく 受検資格	しけんないよう 試験内容
いっばんせんぼつ 一般選抜		にほん ちゅうがっこうそつぎょう み 日本の中学校卒業(見 込み)、外国で9年間の がっこうきょういく う ひと 学校教育を受けた人な ど。	① がくりよくけんさ (5教科) ② ちょうさしょ (学習の成績、部活での活躍など) この他に面接試験を行うこともあります。
とくしよくせんぼつ 特色選抜		にほん ちゅうがっこうそつぎょう み 日本の中学校卒業(見 込み)、外国で9年間の がっこうきょういく う ひと 学校教育を受けた人な どで、しがん こうとう 志願する高等 がっこう しめ しかくようけん 学校が示す資格要件に あてはまる人。	① ちょうさしょ ② しがんりゆうしょ ③ めんせつしけん ④ さくぶん しょうろんぶん がっこうどくじけんさ 作文か小論文か学校独自検査
受検に 関する 特別 措置	かいがいこくしゃ 海外帰国者・外国人等 の	A特別選抜 けんさ 検査	いっぼんてき めんせつ ちょうさしょとう 一般的には面接と調査書等ですが、がくりよくけんさおよび作文を行うことがあります。
		B特別措置 による がくりよくけんさ 学力検査	がくりよくけんさ ちょうさしょとう さくぶんおよびめんせつ 学力検査と調査書等のほか作文及び面接があ ります。がくりよくけんさは いっぼんにゆうし きょうか たい して3教科(国・数・英)となっています。
		にゆうこくご ねんい 入国後3年以内。	
		どうじょう 同上	

※ かいがいこくしゃ がいこくじんとう じゅけん かん とくべつ そち けんりつこうこう じゅけん きぼう ぼあい
 海外帰国者・外国人等の受検に関する特別措置で県立高校の受検を希望する場合、
 たんにん せんせい そうだん
 担任の先生とよく相談してください。

こうりつこうこう しりつこうこう にゆうがくしけん おお ちが
 公立高校と私立高校では、入学試験においていくつかの大きな違いがあります。

こうりつこうこう 公立高校	ぜんにちせいこうこう こう じゅけん 全日制高校は1校しか受検できません(受検日が同じ日です。ただし、定時制、通信制 は受検日が違うので受検できます)。ごうかくしたら特別な理由がない限り入学すること になります。	
しりつこうこう 私立高校	なんこうでも じゅけん じゅけんび がっこう ちが 何校でも受検できます(受検日が学校によって違います)。	
	たんがん 単願	ごうかくしたらその学校に必ず入学することを約束して受験する方法で す。ごうかくしたあとで、公立高校を受検することはできません。
	へいがん 併願	ごうかくしてもその学校に入学することを約束しない形で受験する方法で す。公立高校も受検することができます。
* うんどう がくしゅう とうく す ぐ じつせき ゆう ぼあい とくたいせいじゅけん で き 運動や学習において特に優れた実績を有している場合は、特待生受験が出来る 場合があります。特待生受験は一般的に単願です。(ごうかくすると じゅぎょうりょう いちぶ またはぜんがくめんじよ または全額免除となります)		

(2) 入学試験までのスケジュール

日程	
11月	<p>3者面談において志望校決定</p> <p>☺ 学校の先生やお父さん、お母さんとよく相談して志望校を決めよう</p>
12月	<p>私立高校推薦入試願書提出</p> <p>私立高校一般入試願書提出</p>
1月	<p>私立高校推薦入試</p> <p>私立高校推薦合格発表</p> <p>私立高校一般入試</p> <p>私立高校合格発表 (学校により二次募集あり)</p> <p>公立高校全日制特色選抜入学願書等提出 (29日～30日午後3時まで)</p> <p>公立高校全日制特色選抜入試 (5日～6日)</p> <p>公立高校全日制特色選抜合格者内定 (12日)</p> <p>公立高校全日制一般選抜願書等提出 (18日～19日正午まで)</p> <p>公立高校定時制フレックス特別選抜願書等提出 (23日～24日正午まで)</p> <p>公立高校全日制一般選抜およびフレックス特別選抜入試 (5日)</p> <p>公立高校全日制およびフレックス特別選抜合格発表 (11日)</p> <p>公立高校定時制一般選抜願書等提出 (11日～13日正午まで)</p> <p>定時制一般選抜入試 (17日)</p> <p>定時制一般選抜合格者発表 (20日)</p>
2月	
3月	



合格したら…

義務教育の小中学校とは違って、高校は一度学校をやめたら簡単には戻れません。簡単にやめないで、何か困ったことがあったら、担任の先生や中学校のときの先生などに相談しましょう。